



2023年6月号

FUNs通信

就労移行支援事業所FUNs

第31号

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台2-11-6 淵野辺サトウビル2階
Tel 042-813-0809 Fax 042-813-3231 Email : info@funs2020.co.jp

間違った知識を、修正して得られるもの！

ご利用者様から障害基礎年金について問い合わせがあった事例です。

8時間労働をしたら、年金が受給できなくなる？

一人暮らしのほうか、生活が大変だから年金もらえるかもしれない？

年金の申請が通らなかった場合、数年間の間、取得は難しい？

ご利用者様からの生の心配事です。私は就労移行支援に携わってから16年が経過しましたが、今まで関わったご利用者様からも同様の問い合わせがいつもありました。

この3件について、皆様に関わるご利用者様に対して正しいご回答が出来ますでしょうか。正直、ご利用者様にとっては生活に深く関わる問題なので、テキトー・安易に答えることは本当に失礼なことにもなります。安易に喜ばせてもダメだし、期待を持たせすぎるともよくない。お役所仕事のように伝えても、不安は解消されない所だと、いつも難しいなと頭を抱えています。

数年前から、私にとって年金についてのヒーローが現れました。今月のFUNs通信は合同説明会の話題が大半を占めます。その合同面接会では、就労移行支援・就労継続支援A型・B型・自立訓練の各事業所から担当者が受講者に対してサービス説明をするという企画でした。そちらの記事については裏面をご覧ください。それと合わせて合同面接会の最後に、前述した年金ヒーローが今の障害基礎年金についてを短い時間でびしっと説明してくれました。

今回参加された方にとっては、本題と同じくらい重要な内容だったと思います。合同説明会のパンフレットに「年金について説明します」と記載できなかったのが、本当に悔しいくらいでした。今回参加できた皆さまは、本当にラッキーだったと思います。

障害基礎年金・障害厚生年金・公的扶助。こういった制度を悪用して、問題になるケースがあるのは残念です。但し、この制度自体は生活をしていく上で非常に重要なのは間違いないのです。必要な人が必要な期間、必要に応じて受給出来るように、間接的に支援が出来たらと思っています。

直接支援をするのは、ご家族であり、社会保険労務士の方だと思います。そこに適切につなげることを日々考えていきたいと思っています。（紙谷）

6月のスケジュール

6月 行事予定

6月21日 FUNsフェス

長く働くために。そしてその準備を！

順調に自分らしく働くことが出来ればいいのですが、働くって簡単ではないと思います。希望に合った求人であったとしても、合理的配慮を会社様からして頂いたとしても、思ったようにならないことも残念ながらあります。

例えば、心身の調子が整わなくなること。人間関係が悩みになってしまうこと。ご本人様にとって、苦しい出来事だと思います。

同じように、企業様も困惑しどうしたらいいのか苦慮していると思います。障害を理解し、配慮をしていただける企業がどんどん増えていますが、仕事内容となると難しいところもあると思います。定着支援のスタッフは、ご利用者様と企業様のお気持ちや今後どうしたいかを伺い調整を行います。

就労を継続するか、離職するかは「本人が続けたいか」が一つのポイントとなります。その上で働き続けるために、今の自分が会社の為にできることに取り組めるかどうかだと思います。自分を立て直せるかどうかのセルフケア・リカバリーが大切となります。

FUNsでセルフケアを学んで、立て直せる自分を作って欲しいと思います。（羽藤）



FUNsでも研修を受けて、使用しているKstep（セルフケア）の説明分です。

編集後記

FUNsの運営会議にて、あるテーマについてほぼ全スタッフが消極的になることがありました。そんな時に代表の重たい一言。「やってみたいは出来るに変わる」がFUNsのコンセプトでしょう？

全スタッフが反省したのは言うまでもありません（紙谷）

障害福祉サービス合同説明会

FUNsを会場として、5月19日（金）に福祉サービスの合同説明会を開催いたしました。

・Self-A相武台（就労継続支援A型）・あんびー（就労継続支援B型）・エンラボカレッジ相模大野（自立訓練）の3事業所と、年金について話していただいたみなと横浜申請サービスとFUNsで合同主催として実施いたしました。

27名の参加がありました。今回関係機関の皆さまに告知をお願いしたこと、近隣にチラシを配布しました。淵野辺・矢部・古淵にお住まいの皆様も多数参加していただきまして、福祉サービスに興味がある方が多いなと改めて思った次第です。

本説明会の一番の主旨は「福祉サービスをご自身で適切に自己決定できる」という想いから始めました。実際にも、「利用イメージが湧いた」や「もっと詳しく知るために見学をしたい」といったお声を多数いただき、今後も定期的な開催を計画しています。

今回参加していただきました4事業所は全て、素晴らしい事業所です。下記にQRコードを載せますので、是非ホームページをご覧ください！（山岸）



Self-A相武台



あんびー



エンラボ
相模大野



みなと横浜年金
申請サービス



FUNs

利用者リレーコラム～卒業生からのメッセージ～

私は1年と9カ月前にFUNsを卒業しましたが、月1回以上遊びに来る卒業生です。FUNsとは少し距離のある場所に住んでいるので、FUNsまで移動時間が30分～40分かかります。

当時、勤務地として東京23区内を希望していたため、通勤の練習と証明を意識して通っていました。「毎日時間通り、会社に通うことは可能か」ということは就労する上での大前提です。FUNsに毎日、時間通り通うことで「働く準備ができています」証明になります。練習でできないことは本番でもできないし、「できる」と言っても信じてもらえません。FUNsに時間通りに毎日通うだけで、通えるだけの健康と「決められた時間にいる」という約束を守ることを証明し、社会的信用を築くことにつながっています。

ただ通うだけで就労への練習になります。それらを意識し、考えて、毎日通っていました。「とにかく行く」、まずは第一歩として重要です。実践の有効性はとれています。がんばってください。（卒業生T）

Fuchinobe Unique Navigations Info

交流会も同時開催しています！！

福祉サービス合同面接会は大盛況でした。内容は別記事でご確認ください。関係機関の方々のご協力がないと成り立たない会でしたので、わが社の代表から資金を頂戴し、簡素ながらも交流会を催させていただきました。

Youtuberさんながら、何か企画を！と思いマクドナルドのハンバーガーを全種類購入。参加者全員でじゃんけん大会。一位の方から罰ゲーム？好きなハンバーガーと引き換えに自己紹介をしていただきました。

オトナってノリが良くていいですね！無茶ぶりにも適応していただきました。私個人的には、一度口がほぐれると、ゆっくり全てがほどこけていく感じがあります。そこからは、各事業所の取組などでどんどん盛り上がっていききました。

スタッフとしては、FUNsでの「アイスブレイク」プログラムが有効的だったことにホッとしている所存です。（須永）

『ココロと気持ち』は連ドラ風！？

生活プログラムで、『ココロと気持ち』というプログラムがあります。

「自己肯定感が上がる」ような内容、「自分のココロが揺れた時、どのように対処すればよいのか？どうしたら立て直せるのか？」といった内容や「かなりカバリーも出来る！」という立て直しポイントをディスカッションして、意見交換をする事もあります。

なぜこのプログラムを作ったかと言いますと、FUNsに来ている時は担当が付いており、心配や不安があったら相談が比較的いつでもできる環境にありますが、就労した後、相談する時間が無かったら...仕事が立て込んでいたら...自分で立て直さなければなりません。

自分一人でもある程度の所まで立て直しができるようになっていたり、気持ちをフラットに持って行けるようになっていけたら最高だ！という考えから、このプログラムを一話完結型の連ドラ風に不定期で行っています。（井川）

卒業生にお願いした経緯～リレーコラム～

スタッフが「卒業生の方も頑張っていますよ！」とご利用者様にお話しすることがあります。しかし、FUNsフェスに遊びに来てくれる卒業生が、会社でのお話をさせていただいている方がリアリティがあります。

そこでTさんに「
と書いた内容で記事を寄稿していただきたい」と話を持って行ったところ、「紙谷さん、大事なのはこっちの方ですよ！」と左の記事を寄稿していただきました。Tさんは私なんかよりこのFUNsの使い方を熟知されていましたね！（紙谷）